

東日本大震災と原発事故からの復興に向けた取り組みや国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声など、福島県の「今」を多言語にてお伝えしています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。



Voices from Fukushima

遠野和紙で福島を元気に シルヴィア・ギャラハーさん

(ニュージーランド・ウェリントン出身・いわき市在住)

2019年10月、いわき市地域おこし協力隊にシルヴィア・ギャラハーさんが就任しました。いわき市遠野町の伝統工芸品「遠野和紙」の後継者として地域おこし活動を行なっています。遠野町の自然風景に惹かれて移住を決めたというシルヴィアさん。遠野和紙で絵本を作り、福島を世界に発信したいと考えています。活動にける想いなどをお伺いしました。(インタビュー日：2019年12月26日)



-今の活動についてお聞かせ下さい。

いわき市の地域おこし協力隊として遠野和紙の制作と遠野の地域活性化を図る仕事をしています。最近、遠野地区の学校で使用する卒業証書づくりに忙しい毎日です。

-遠野和紙とはどのようなものですか？

遠野和紙は、遠野町で生産した楮^{こうぞ}を原料に漉いた和紙です。完成までには非常に長い工程があり、楮の皮を煮たり干したりを何度か繰り返し、紙漉きをします。現在、手漉き和紙が継承されているのは、県内ではわずかな地域のみとなっています。

-和紙づくりで大変なことはありますか。

剥いた楮^{こうぞ}の皮の黒い部分を取り除く「塵取り^{ちり}」という作業が一番大変です。白い紙にするために出来るだけ多く取り除く必要があることと、手作業

で行うことから時間がかかります。

-遠野和紙を使用した絵本を出版するとのことでした。

私を含めた友人3人で制作しています。友人がストーリー、私は挿絵を担当しました。

絵本の制作は、以前から取り組んでいましたが、私がこの仕事に就いたこともあって、和紙の使用を考えました。絵本はほぼ完成し、今はイギリスにいる友人が出版社を探しているところです。

-どのような内容の絵本ですか？

主人公の馬が家に帰るまでの旅の物語です。津波の被災地や原発周辺の風景などを描いています。物語の結末は読んだ人が未来への希望が感じられるような内容にしました。

-この絵本でいちばん伝えたかったことは何ですか？

福島県の復興に関する正確な情報です。福島県には原発事故の影響で人

が暮らせなくなっている地域と普通に暮らせる地域、両方があること。そして、そこでは人々がいろいろな活動に取り組んでいるということの世界の人に伝えたいと思いました。この本を書くにあたり、立入が制限されている福島第一原発周辺の地域の取材もしました。

-これからどんなことをしていきたいですか。

いろいろな紙の漉き方に挑戦してみたいです。また、ニュージーランドの友人を遠野町へ案内したいと思っています。

遠野町の自然風景は本当にきれいです。そして、遠野和紙は独特の風合いが魅力的です。工房では見学も受け付けていますので、皆さんぜひ遊びに来てください。

いわき市遠野町のホームページ
<http://www.iwaki-tohno.jp/>

中国語でヨガ（会津若松市）

12月20日（金）会津若松市国際交流協会の主催で「地球ちよい旅・中国語でヨガ」が開催されました。6回連続講座の最終日となるこの日は、ヨガのあと中国茶の講座も開かれ、日本・中国・マレーシア・ベトナム出身の参加者が交流を深めました。ヨガと中国茶の講師・李暉昱さん（中国出身）は「6回はあっという間でした。みなさんと一緒にできて楽しかったです」と語りました。



ルワンダ写真展 in ふくしま（福島市）

ルワンダの教育を考える会は、1月6日（月）～11日（土）「ルワンダ写真展 in ふくしま」を開催しました。1月11日（土）に行われた活動報告会では、千葉の子供たちによるルワンダでのホームステイ体験の発表もありました。会場では食パンやルワンダコーヒー、絵葉書、アフリカ布で作られた小物などが販売され、訪れた人たちが足を止めていました。



日本語教室新年会（福島市）

福島移住女性支援ネットワーク（EIWAN）は、日本語教室や継承語教室の開催、外国にルーツを持つ子どもたちの就学支援などの活動を通じ、移住女性の支援を行っている団体です。1月11日（土）日本語教室の新年会が開催され、外国出身の女性達が新年を祝うため集まりました。テーブルにはそれぞれが持ち寄った各国の料理が並び、参加者たちは母国の料理を日本語で説明しながら和やかに談笑していました。



多言語による復興情報「ふくしま復興ステーション」

福島県の復興状況の最新データや食の安全・安心に向けた取り組み、福島を応援する方々の活動など10言語で発信しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>

- 外国人住民のための相談窓口 -

11か国語に増えました

日本語・英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語、ネパール語・インドネシア語、スペイン語

毎週火曜日～土曜日 9:00～17:15

☎024-524-1316 ✉ask@worldvillage.org（相談専用）

情報をお寄せください

みなさまからのご意見や感想をお待ちしております。取り上げてもらいたい情報、Voices from Fukushimaにご登場いただける県在住外国人の情報もお気軽にお寄せください。

発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1 福島県庁舟場町分館 2 階

☎ 024-524-1315 ☎ 024-521-8308

✉ info@worldvillage.org

🌐 <http://www.worldvillage.org>

Facebook <https://www.facebook.com/fiainfo>

Twitter https://twitter.com/fia_info

